

平成27年度 学校評価結果について

平成28年2月に、保護者・生徒を対象に学校評価アンケートを実施し、海陽中学校の教育活動に対する満足度を調べました。皆様方のご協力に感謝申し上げます。集計結果をもとに平成27年度の学校評価をまとめましたので公表いたします。

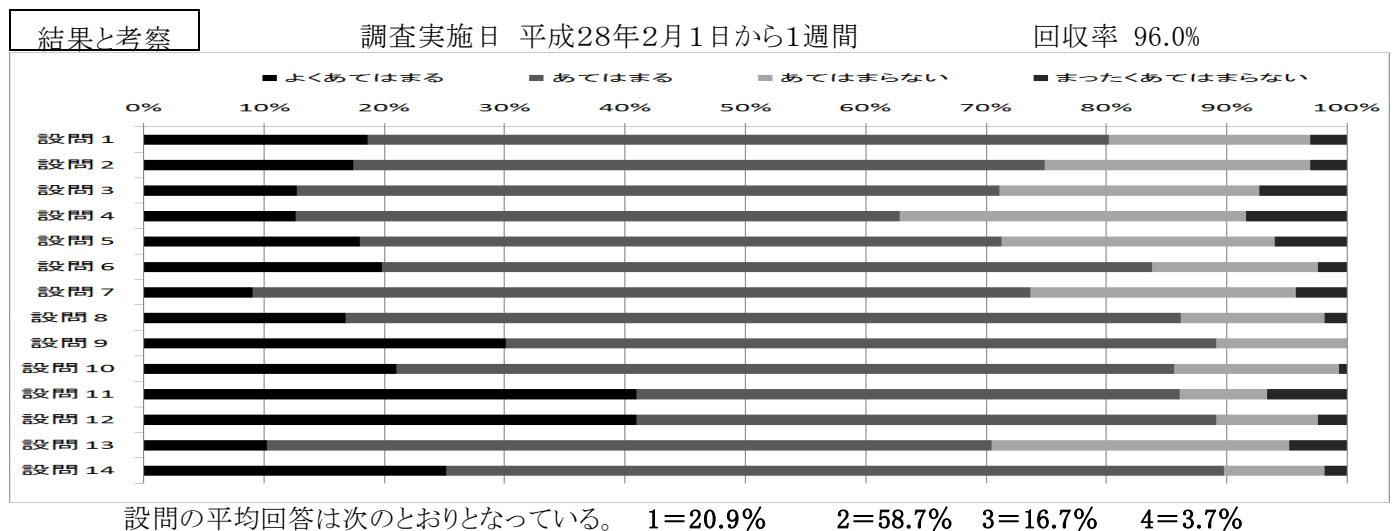
◆ 保護者へのアンケート調査

次の14項目(カッコ内は生徒への質問)の質問に対して下の4段階で回答していただきました。

*今年度より設問3・4の内容を変更しました。

1 よくあてはまる 2 あてはまる 3 あてはまらない 4 まったくあてはまらない

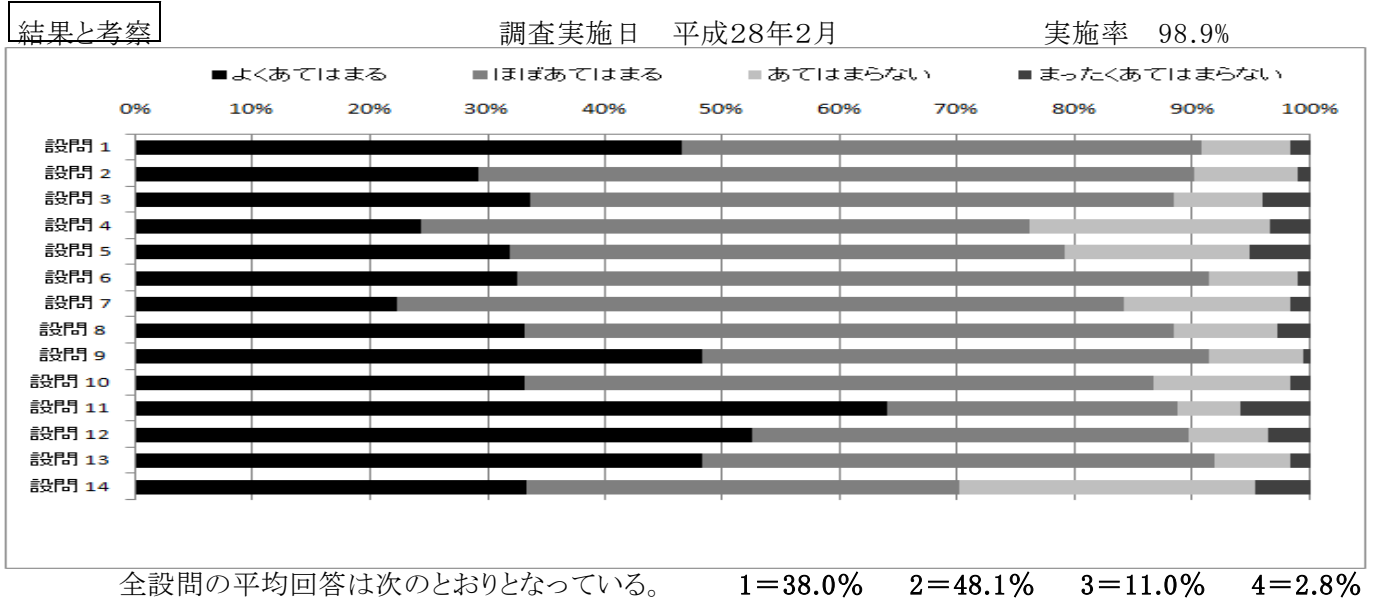
- 1 生徒の生活・学習面での健全な発達を考え、個性的で魅力的な学校づくりができています。
- 2 学校の教育に関する施設・設備は十分である。
- 3 いじめや生徒指導上の課題に迅速かつ適切な指導ができています。
- 4 生徒の課題や変化を見逃さず、粘り強く指導するなど熱意のある教職員が多い。
- 5 生徒は夢や目標に向かって積極的に取り組んでいる。
- 6 生徒は学校や学級のきまりを守っている。
- 7 各教科においてわかる授業を工夫して実施している。
- 8 生徒の学習成果を公平に適切に評価している。
- 9 中学校の学校行事は生徒にとって楽しいものとなっている。
- 10 中学校の学校行事は、学級のまとまりや伝統の継承に役立っている。
- 11 部活動担当教員は、熱心に指導している。
- 12 生徒は部活動に意欲的に取り組んでいる。
- 13 学校からのさまざまな情報は十分に提供できている。
- 14 参観日や面談(回数・内容)などは適切である。(14 学校でのできごとなどを家族によく話す。)



- (1) 肯定率80%を越える設問は1・6・8・9・10・11・12・14の8項目であり昨年度に比べ1項目の減である。これ以外の設問2・3・5・7・13は、肯定率70%を越えているが、設問4(生徒の課題や変化を..)は60%台にとどまった。今後はさらに、生徒の変容への素早い対応や生徒の特質や課題に応じた粘り強い指導を充実させていく。
- (2) 肯定率が向上した項目は 設問5(生徒は夢や目標に向かって..)・11(教員は部活動に..)・12(生徒は部活動に..)である。昨年度から総合学習の全体計画の改善に取り組み、キャリア教育との関連を明確にした。今後も家庭や地域の協力を得ながらキャリア教育を推進し、生徒の自己有用感を育み進路を拓く力を育成する。また、部活動は肯定率が向上しているが、保護者の受けとりに差がある。引き続き、人づくりの視点に立った部活動の充実に取り組み保護者の理解と協力を得ていく。
- (3) 肯定率が低下した項目は、設問2・3・4・6・7・8・13である。ただし、設問3・4は質問内容を変更し達成基準が上昇していることから、単純に昨年度との比較はできない。全体平均がほぼ80%であることから、学校の取り組みに対して一定の評価をいただいていると考えられるが、授業や生徒指導など個別の教育活動に対して十分な評価を得ることができていない。今後も、「わかる授業」をめざし授業改善に取り組むとともに、家庭の協力を得ながら家庭学習の習慣化を図り、学力の向上をめざす。また、生徒指導上の課題への指導体制の見直しを行い、さらに充実した学校生活を送れる取り組みを継続していく。
- (4) 自由記述の欄には、様々な角度から率直に書いていただいた。肯定率が減少した項目に関連する内容が多く見られた。ご意見を真摯に受けとめ、上記の教育活動の改善に取り組む。また、教育活動の改善を図る上で保護者との連携が重要であり、各種通知・便り・学校HPの充実など、保護者への幅広い情報提供に努める。ただし、個人情報等に類するものについては情報提供が限定されるのでご理解をお願いしたい。

◆ 生徒へのアンケート調査

保護者への質問項目に類似した14の設問に対して下の4段階で回答してもらいました。アンケート項目は紙面の関係で省略します。



- (1) 全体の肯定率は86.2%であり、昨年度から1.4%の増である。肯定率が80%を超える設問は14の設問中11問であり、その内90%を越える設問は、設問1（中学校はいろいろな活動があつて楽しい）2（施設設備は十分）6（学校のきまりを守っている）9（学校行事は楽しい）13（通知や連絡を家族に伝えている）の5項目であり、昨年度から2項目の増である。集団の規律を守り、学校生活が充実したものになっていると考えられる。
- (2) 肯定率が70%～80%になる設問は3問あり、設問4（親身に粘り強く指導）5（夢や目標に向かって積極的に取り組んでいる）14（学校でのできごとなどを家族によく話す）である。昨年度と比較し、設問4は9.2%減、設問5は2.5%増、設問14はほぼ同じである。
- (3) 学年の平均肯定率は 1年生84.6% 2年生82.8% 3年生91.5%である。2年生の肯定率が昨年度の1年生の時より5.2%減少している。行事等では中堅学年として十分に目標の達成感を味わっている。その反面、目標が持たず前向きに努力を重ねることができず葛藤が現れる場面もある。3年生は2年生時から5.1%増加しており、責任のある立場としての自覚や進路など目標達成のための努力が徐々に為されるようになったと考える。

◆ 総括（保護者・生徒のアンケート結果より）

- (1) 学校行事は楽しく、学級のまとまりや生活の向上に役に立つものとなっている。
- (2) 学習の評価が公平・適切にできている。
- (3) 参観日や面談(回数・内容)などは現状が適切である。
- (4) 学級や学校の決まりを守ることは大部分できている。
- (5) 生徒たちは部活動に熱心に取り組んでいる。人づくりの視点に立った部活指導を充実させ、保護者の理解や協力を得る必要がある。
- (6) 系統的な人権教育・キャリア教育を実施し、心の教育や夢・目標に向けた積極的な取組が必要である。
- (7) 学校でのできごとなどを家族によく話す生徒の割合が昨年度と変わらない。日常的な会話や学校生活・進路についての会話が、家庭で十分に為されるようお願いしたい。学校では、情報機器の使用に際しての情報モラル教育を継続して行う。家庭におけるルールづくりができるよう家庭との連携を深める必要がある。
- (8) 教職員に対する評価は、保護者・生徒ともに肯定的な評価の割合が高い。しかし、学年・教科・部活動によって評価がわかれている。教職員が研修を深め、さらに分かりやすい授業・指導をめざした取り組みや生徒の変容への素早い対応や生徒の特質や課題に応じた粘り強い指導を充実させていく。
- (9) 施設設備の充実とともに、安全教育の充実を継続させていく。

◆ おわりに

保護者(79.6%)生徒(86.2%)と全設問に対して肯定的な評価が高く、家庭、地域、関係機関の協力を得て、「安心して学べ、確かな学力をつける学校」をめざして取り組んできたことの表れであると思われる。しかし、80%を越えていない項目や昨年に比べ減少した項目など課題もある。生徒・保護者の少数の意見にも耳を傾け、真摯に受けとめていきたい。そして全項目の肯定率が80%を越えるように、生徒との信頼関係を結び、さらにわかりやすい授業や組織的な指導体制と生徒の特質や課題に応じた粘り強い指導を充実させていく。

また、本校教育方針の意味や願いを学年便り、ホームページ等を有効活用し、地域・保護者に説明し、家庭・地域・関係機関の連携をさらに深めていく。そして地域の教育力を生かした「開かれた学校」づくりにも引き続き取り組んでいきたい。(学校からの通知が不達となる状況が増加しており、ご家庭での確認と日常的な会話や学校生活・進路についての会話が、家庭で十分に為されるようお願いいたします。)